

4年生以下 課題文②

우산

맑았던 날
갑자기 비가 내리면
우산 없어 찢찢때는
싸웠던 친구도
내 우산 함께 쓰고
나란히 발맞추어 집으로 간다.

비 그치고
수줍은 햇살
헤헤 웃고 나오면
아쉬운 듯 우산 접으며
멋 적게 마주보며
미소 짓는 친구와 나

맑은 날 느닷없이
비,
자주 내려준다면
서로 싸웠던 친구들도
쉽게 화해할 수 있겠다.

우산이
금 줏던 친구 사이
다시 붙여주는
강력본드 되어주니까.

かさ

晴れた日
きゅうに雨がふると
かさがなくてあたふたして
ケンカした^{ともだち}友達も
^{わたし}私のかさ(を) いっしょにつかって
ならんで足をあわせて家に行く。

雨が止んで
すこしはずかしい日ざし
フフフとわらって出れば
ものたりないようにかさをとじて
はずがしがりながら顔を見あわせて
ほほえむ^{わたし}友だちと私

晴れの日 いき나りの
雨、
しょっちゅうふってくれるのなら
おたがいにケンカした友だちたちも
かんたんになか直りできるだろう。

かさが
ひびがはいった友だちのなか(を)
またくっつけてくれる
強力なボンドになってくれるから。